



栃木県議会議員
大貫

タケシ
毅

2025 年 夏号



政務活動報告

5月28日から6月16日まで、第407回通常会議が行なわれ、令和7年度一般会計補正予算、各種条例改正、副知事の選任同意、陳情の審議などを行ないました。一般質問には民主市民クラブからは渡邊典喜議員が登壇し、「就職氷河期世代への支援」「持続可能な介護の在り方」「フリースクールとの連携」など6項目にわたり当局の見解を問いました。

《今議会での主な補正予算》

- ★ 高校生等臨時支援金（私立）事業費 304,515千円
- ★ 高校生等臨時支援金（公立）事業費 650,605千円

高等学校等就学支援金制度で所得制限を受けている年収約910万円以上世帯の高校生等を対象に、国公私立共通の基準額である上限11.88万円／年を授業料相当の教育費として支給。

- ★ 周産期・小児医療提供体制確保支援事業 143,830千円

- 1 分娩取扱施設支援事業費 26,000千円
- 2 小児医療施設支援事業 67,706千円
- 3 地域連携周産期支援事業（分娩取扱施設）17,446千円
- 4 地域連携周産期支援事業（産科施設）32,678千円

分娩取扱施設が少ない地域等における分娩取扱機能の維持のための取組を支援するとともに、地域の小児医療の拠点となる施設について、急激な患者数の減少等を踏まえた支援を行い、地域で子どもを安心して生み育てることのできる周産期医療体制及び地域の小児医療体制を確保することなど。

- ★ LPガス料金激変緩和対策事業費 349,000千円
- ★ 特別高圧受電中小企業等支援事業費 54,000千円

国の電気料金支援の対象となっていない特別高圧で受電する中小企業等の負担軽減を図るための事業。
補助額 7、9月分1.0円/kwh 8月分1.2円/kwh

令和7年度一般会計補正予算を決定

令和7年度一般会計補正予算は私たち民主市民クラブも賛成し、全会一致で可決されました（左表参照）。高校生等臨時支援金事業は、令和7年の通常国会での審議結果を受け、高等学校等就学支援金制度の所得制限を撤廃するものです。全額国費で賄われます。

その他、周産期・小児医療提供体制を維持確保していくための事業や物価高等に対応するための補助事業です。

いづれも国の事業に基づくものですが、根本解決には至らない**びほうさく**弥縫策との感が拭えません。物価高、少子化にどう挑むのか
が問われます。

副知事の人事案を承認

6月30日で現職の天利和紀副知事が退任をすることから、副知事の選任同意の議案が提出され承認されました。新たな副知事は総務省から出向となる赤岩弘智氏、51歳です。もう1人の副知事である北村一郎氏は変わりません。

陳情2件は不採択

「寄宿舍指導員により生活訓練施設を活用した宿泊学習の継続実施に関する陳情書」(※)「暴走族への対応を求める陳情」の提出がありましたが、審議の結果いづれも不採択となりました。私どもの所属する民主市民クラブは、寄宿舍に関しては、宿泊学習を全ての児童生徒に拡大するには、1年の検討期間では短いとの陳情趣旨を受け入れ賛成。暴走族も引き続き対策を求める立場から賛成をしました。

※陳情趣旨の要約

県教育委員会は令和6年度末をもって、那須及び栃木特別支援学校の寄宿舍を「一部の利用者への教育に留めず、すべての特別支援学校（知的障害）の児童生徒に教育を進める」として閉舎した。県教委が示すすべての児童生徒への「宿泊学習」を展開するためには、令和7年度のみ生活訓練施設を活用した宿泊活動では十分とは言えず、継続した活用を求める。

**県政を
身近に!**



双方向の意見交換で市民が主役の政治を目指します! どなたでも参加できます。参加費無料、申し込み不要。

第34回タウンミーティング（対話集会）開催します!

とき 8月30日(土)14時～16時

ところ かぬまケーブルテレビホール

1階:多目的ギャラリー（市民文化センター）

第20回鹿沼平和写真展を見学して頂き、みなさんと意見交換します。いつも通り県政・市政報告、自由交換も行ないます。

内容

私たちが参加予定です。特別ゲストもあるかもね。(.)



大貫 毅県議



船生雅秀市議



駒場久和市議

問い合わせ 大貫タケシ事務所 0289-74-7311

民主市民クラブ行政視察報告

福島第一原発の現状

不登校対策・フリースクールの取り組みを学ぶ

改めて事故の甚大さを痛感

4月16日～17日、連合議員懇談会の視察研修会で福島第一原発を訪れました。原発内に立ち入るには、かなり厳格なチェックが行なわれました。こうしたことから、極めて厳重な態勢で厳密に廃炉に向けた作業が行なわれていることを感じました。しかし、2051年に廃炉とする目標は実現困難のようです。また、廃炉費用は年間2千億円、働いている人は5千人ということにも驚きました。これだけの資源を廃炉に投じなければならない事に、正直複雑な思いを禁じ得ませんでした。



1号機の様子。建屋全体を覆う大型カバーを設置中(写真上)。目前に被災した原発を見ることができました(写真左下)。

問われる学校のあり方

5月12日～13日、「岩手県の不登校対策」「盛岡ユースセンターのフリースクールなどの取り組み」について視察研修を行ないました。

文科省は、昨年10月、不登校の状態にある小中学生は2023年度34万人余りにのぼり、11年連続で増加して過去最多となったと発表しました。岩手県でも、同様の傾向にあり、様々な不登校対策が行なわれていました。

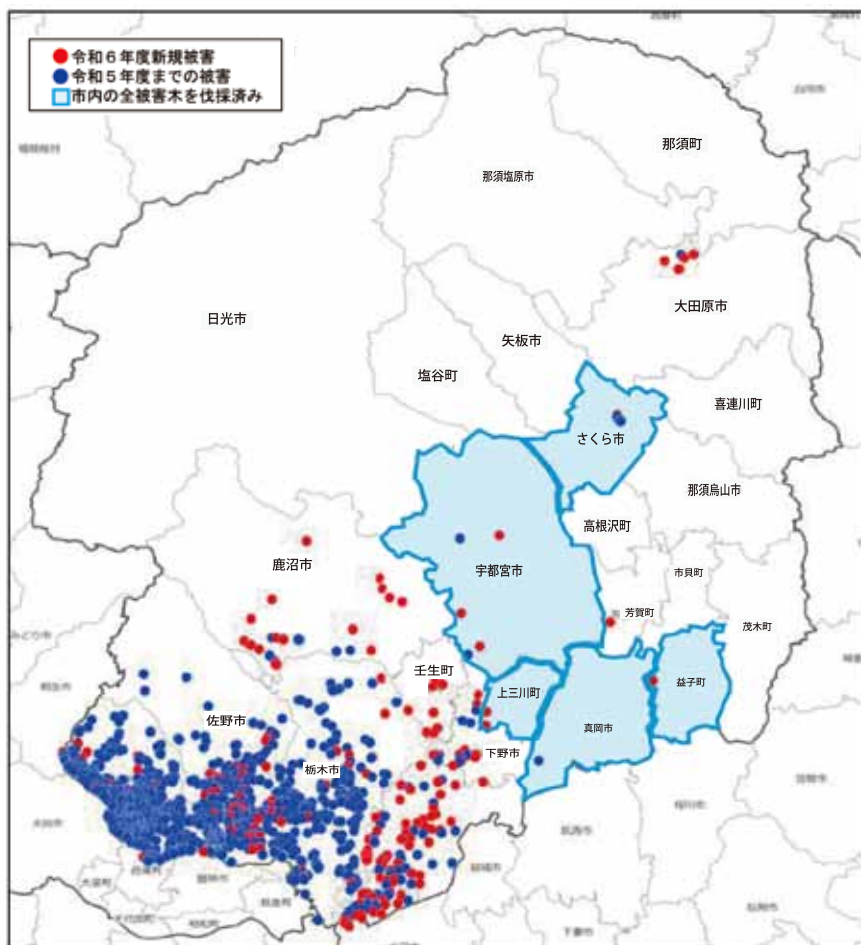
岩手県不登校児童生徒支援連絡会議による「不登校支援フォーラム」を開催し、学校・家庭・地域が一体となった子どもたちへの支援により、誰一人取り残されない学びの保障を追求するための実践や体験が共有されていました。

盛岡ユースセンターは、2010年に発足したNPO法人で、フリースクール(小中)や高校資格取得支援等を行なっています。すべての子どもたちが、自分に価値を感じながら笑顔で成長できる社会の実現を理念に、子どもたちが自分らしさを大切にしながら、安心して学び、育てる環境を提供することを実践しているとのことでした。

こうした現状に、学校はどう答えていくのか、鋭く課題を突きつけられていると感じました。



○栃木県におけるクビアカツヤカミキリ被害確認箇所



地球温暖化の影響か、生態系に異変が!?

環境森林部より、クビアカツヤカミキリ被害やヤマビル防除方法の検証(中間報告)などの報告がありました。クビアカツヤカミキリやヤマビルは、鹿沼市でも急速に生息エリアを拡大しており、その被害も深刻となっています。これらの背景には、温暖化が様々な影響を及ぼしていることが伺えます。ヤマビルは今のところ忌避剤のスプレーなど自己防御の他に有効な対策がないのが現状なので、新たな防除方法に期待をしたいところです。

リニューアル

ヤマビル防除方法の検証(中間報告)

～重曹を用いた安全・安心・安価な面的防除～

県ではヤマビルの面的防除方法の検証を行っています。令和6年度までの検証結果として、入手が容易で安価な重曹(炭酸水素ナトリウム)に屋外での散布で一定の忌避効果が確認されました。

使用方法	
目的	ヤマビル生息密度の低減
想定箇所	林地に接した生活圏内など
散布量・方法	重曹粉末: 20g/m ² (直接散布)
効果期間	約1か月 ※検証中

※現場実証試験の様子

〈備考〉

- ヤマビル対策の基本は、肌を見せないことや靴への忌避剤塗布などの個人防除です。
- 重曹を用いた面的防除は、誰でも入手が容易な重曹を用いて環境に配慮しながら、林地に接した生活環境等におけるヤマビル密度の低減が期待されます。

※栃木県ヤマビル対策マニュアルより

※「通信」に対するご意見等は下記までお寄せください。

大貫タケシ事務所

TEL 0289-74-7311

〒322-0045

FAX 0289-74-7321

栃木県鹿沼市上殿町276-4

mail: takeshi@one.bc9.jp



クビアカツヤカミキリは、約2センチから4センチ。サクラやモモ、ウメなどの樹木の内部を食い荒らし枯らしてしまう特定外来生物です。(以上は栃木県HPより転載)

鹿沼市など行政では、被害を発見した場合は通報を求めています。